

国際会議から 第1回鉄道技術国際会議 (Railways2012)

本会議は、車両、軌道・構造物などのインフラ、エネルギー、環境、信号・通信など鉄道技術全般に関する国際会議です。今回が第1回目の新しい会議ですが、ヨーロッパ各国を中心に、日本、韓国、中国、米国、オーストラリア、ブラジルなど25カ国から参加があり、3つの会場において205件(招待講演12件を含む)の口頭発表がありました。日本からは、東京大学、東京理科大学、JR東日本、JR東海、JR西日本、鉄道総研(車両5件、軌道1件)より、13件の発表(招待講演・須田東大教授を含む)がありました。

発表テーマとしては、車両システムのモデリング・シミュレーション、橋梁のダイナミクス、軌道の状態監視・メンテナンスに関するものが多い傾向がみられました。また、発表者の内、大学関係者が半数近くに達し、学術的な発表



が多い印象を受けました。

本会議の目的は、参加者間の情報交換および共同研究の機会を提供することであり、



朝比奈 峰之  
車両構造技術研究部  
車両振動研究室  
副主任研究員

実際に会議は堅苦しい雰囲気はあまりなく、発表に対する質疑応答にとどまらず、コーヒープレイクや昼食においても同席した参加者同士で互いの研究についての意見交換が活発に行われていました。

正式名称 : The First International Conference on Railway Technology : Research, Development and Maintenance (Railways2012)

開催国 : スペイン(グラン・カナリア島 ラス・パルマス・デ・グラン・カナリア)

期間 : 2012/4/18 - 20

主催 : Civil-Comp Limited

次回開催予定 : 2014年4月8日~11日 フランス(コルシカ島 アジャクシオ)

ホームページURL : <http://www.civil-comp.com/conf/railways2012.htm>